

2013年 3月発行  
日光口地区まちづくり協議会

## 第4回協議会 ～まちづくり構想図の検討～

2月17日(日)、第4回協議会を開催しました。今回は、前回の意見からコンサルタントによるまちづくり構想(素案)がたたき台として示されました。

その後、それらの内容をふまえ、地区の将来像(未来予想図)を描く作業を、2班にわかれて約1時間30分行いました。

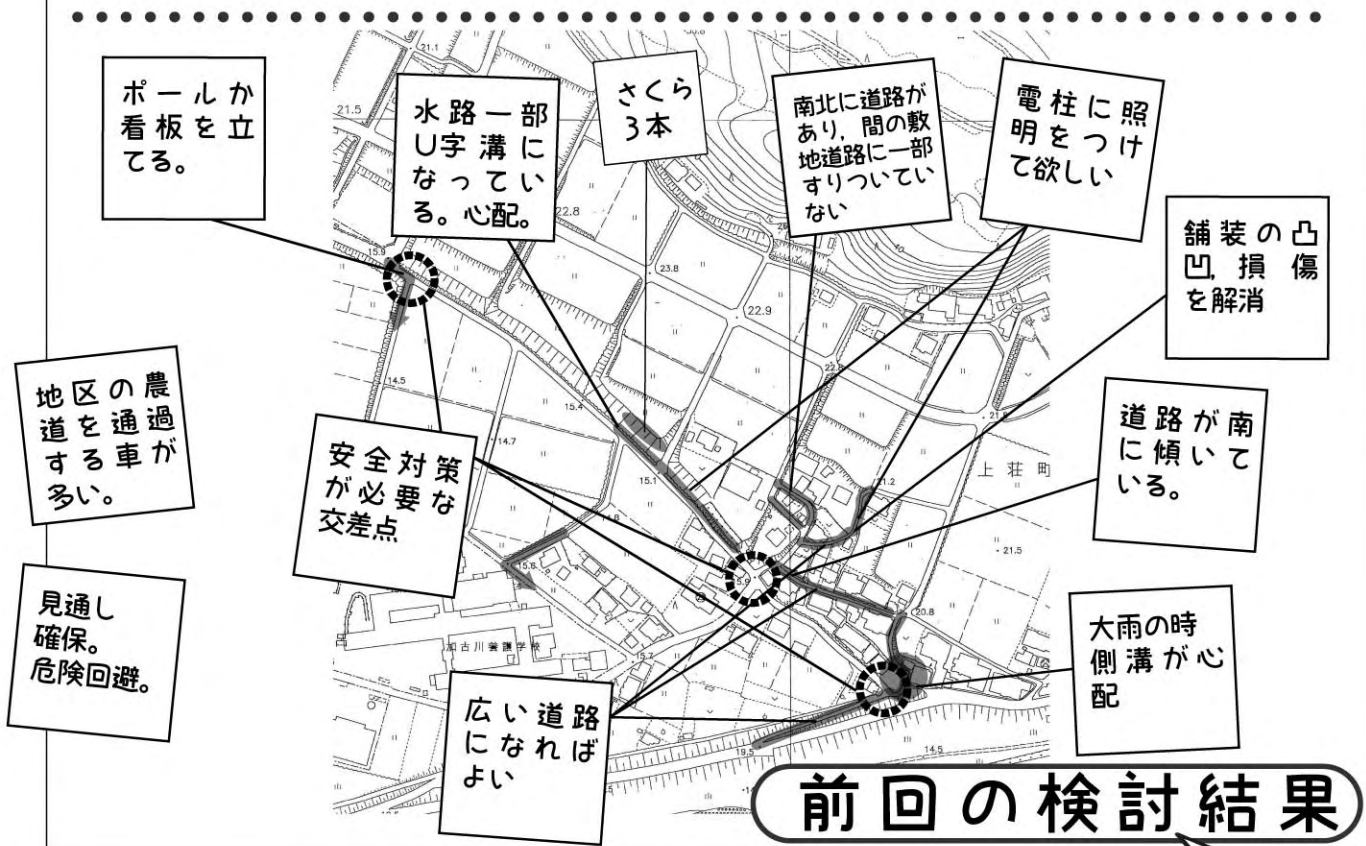
※グループワークのまとめは下記と裏面を参照してください。

今年度さいごとなる次回は、2月に話し合った内容をまとめたものを確認いただきます。ぜひ、次回もご参加ください。これまで参加していない人も大丈夫です。毎回振り返りをおこなっています。

だれでも  
参加できます。

### 次回の予定

- 日時** 平成25年 **3月17日**(日) 10:00～12:00
- 会場** 日光口公民館
- 内容** ① まちづくり計画の確認  
② 来年度のすすめ方



### 前回の検討結果

これはまだ  
検討中です

次回は今年度最終検討会・ぜひご参加ください。

# 前回の検討結果

※下記は協議会での検討のまとめであり、これから意見集約と合意形成を図っていく段階のものです。

旧公会堂敷地は、広場・駐車場等どんな活用が望ましい？

⇒物置としてそのまま置いておくのもよい

⇒広場には狭いので駐車場かな！？

公民館の駐車場用地は、交流の場など、どのような活用が望ましい？

⇒子どもの遊び場

⇒全面芝生がよいが、管理が大変。

⇒砂場・ベンチを置き開放する

⇒今も遊び場として利用※ボール遊び禁止

⇒地区の行事で利用したい

⇒防火水槽、消火栓の管理を

桜並木および並木沿いの空気を活かし、どんな公園整備が望ましい？

⇒維持が大変だなぁ。

風水害などの災害に備えて必要な対策を行う場所はどこ？どんな対策が必要？

⇒水路（U字溝のところ、あふれる心配がある）

ほたるや蝶など多様な生物の生息環境を維持し、周辺の里山や田畑の豊かな自然環境を保全・育成する。

⇒目標としてOK

（生物は少し減っている。水環境は悪くない。）

放棄田や放置された廃屋など、荒廃した土地を生み出さないよう、畦や田畑、家屋の適切な維持・管理に努め、美しい田園景観を保全する。

⇒目標としてOK

既存水路を活かした「水辺と桜並木のみち」の整備を推進する。

⇒整備を推進する→「維持に努める」変更してはどうか。

火の見櫓等を集落のランドマークとして積極的に保全し、集落の街並みや石積み、板塀などの伝統的意匠とともに、まとまりのある景観を形成する。

⇒ランドマークとして積極的に保全→「ランドマークとして維持」に変更してはどうか。

⇒ペンキ塗りかえやサビ落としをして危険がないようにする必要がある。

《建築物の高さ》戸建住宅を中心とした集落環境をまもるため、2階建て（10m）以下とする。

⇒南側はあまり高くない方がよい。

⇒3階建てにして10m

⇒2階建てがネックにならないか？→協議事項として残す

《汚水対策》建築物の新築の際には合併浄化槽を設置する

⇒目標としてOK

《屋根の形状》2方向以上の勾配屋根とし、瓦もしくは瓦を感じさせる素材・色彩を用いる。

⇒屋根の形状は制約なしでもいいかな。

⇒色彩は今使われている色

《素材・色彩》外壁や外構はできるだけ自然素材を用いる。そうでない場合は周囲の街並みや田園風景に調和する落ちついた色彩とする。

⇒他の地区の決め方を参考にしたい

⇒色彩は「落ち着いたもの」



《垣・柵の構造》道路に面する垣・柵の構造は生垣が望ましい。

⇒生垣という制約はなくてもよい

⇒生垣は道路のはみ出しが心配。

⇒他地区では高さを決めているところもあり。

⇒公民館の前の道路（生垣）の見通しをよくしたい。

⇒もう少し検討が必要。

《緑化》敷地内の緑化に努め、既存の中高木などの緑はできるだけ保全する。

⇒目標としてOK

《地縁者の範囲》小学校区とする。

⇒目標としてOK

